

3カード終え同率2位

逆転Vへ青学大と対決

東都大学野球春季リーグ戦(2部)第2(4週)4月16日(5月9日、神奈川県・サテューフォー相模原球場ほか)

との直接対決(5月21、22日)、拓大(6月4、5日)との対戦を残して、1部復帰に向けて優勝の期待が高まっている。

エースの佐藤真(経営3・関東第一高)は、ここまで4勝(うち2完封)を挙げ、勝ち数、奪三振の2部門でリーグトップに立つ。

東農大第3戦(5月9日)でも緩急をつけた投球で相手打線の的を絞らせず、被安打4で完封勝利。「絶対に落とせない試合だったので勝てた良かった。ランナーを出した後の投球がしっかりできていたので得点を与えずに済んだ」と好投を振り返った。

特に火ノ浦は9戦中6戦で打点を挙げ、4番にふさわしい活躍を見せている。

(八代哲・経済3)写真

順位	青学大	専大	日大	国士大	拓大	東農大	勝ち	負け	分け	勝ち点
1	青学大	-	〇〇〇	-	〇〇〇	〇〇	6	2	0	3
2	専大	-	●〇〇	〇〇〇	-	〇〇〇	5	4	0	2
2	日大	●〇〇	〇〇〇	-	〇〇〇	-	5	4	0	2
4	国士大	-	●〇〇	-	-	〇△△〇	3	2	2	1
5	拓大	●〇〇	-	●〇〇	-	-	2	4	0	0
5	東農大	●〇〇	●〇〇	-	●△△	-	1	6	2	0

第4週終了時



緩急をつけたピッチングで好投する佐藤真(5月9日、東農大第3戦)

専大スポーツ

No. 396

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>
 【専大編集部Web】<https://sensuppo.com/>

フリー65kg級 徳力がV

79kg級金子2位
 レスリング・JOC
 ジュニアオリンピック
 クアップ4月27、
 28日、横浜市・横浜
 文化体育館

男子フリースタイル
 で、65kg級で徳力貴太
 (文1・いなべ総合学園
 高)が優勝した。

79kg級で金子将大(文
 2・島原高)が2位、57
 kg級で岡本隼人(経営3
 ・和歌山北高)が3位。
 男子グレコローマンスタ
 イルでは87kg級で木村海
 騎(文2・高知東高)が
 3位となり、4人が上位
 入賞を果たした。

相手の背後を取り、試合
 をコントロールする徳力



徳力は大学最初の大会
 で早くも結果を残した。
 決勝戦も危ない試合
 運びでテクニカルフォ
 ー
 ル勝ち。「大会を通じて
 自分に不足している部分
 テクニカルフォール勝ち
 文化体育館



ドリブルで敵陣を突破する中杉
 二早大戦、撮影・渡邊未来(文1)

早大に2-0
 今季初白星
 関東大学サッカーリ
 ーグ戦・第1~5節
 4月6日~5月6
 日、千葉市・フクダ
 を終え、1勝1分3敗と

開幕から3戦勝利なし
 で迎えた第4節で昨年王
 者の早大に勝利し、今期
 初白星を挙げた。第5節
 初白星を挙げた。第5節
 を終え、1勝1分3敗と

6月2日は集中応援日
 6月2日、味の素フィールド西が丘(東京都
 北区)で行われる関東大学サッカーリーグ戦第
 8節の明大戦は集中応援日となります。専大
 生、卒業生の先着100人に観戦チケットを無
 料で配布。スタンドをグリーンで染め、専大イ
 レフンにエールを送ろう。

ダブルス 男女ともに優勝



得点を挙げ、ガッツポーズを見せる上村(左)と星
 二決勝戦、撮影・村山健人(商2)



息の合ったプレーを見せた永道(左)・大島
 二決勝戦、撮影・村山

上村が「浅津選手の質の
 高いボールと小野寺選手
 の堅実なプレーで自分た
 ちの卓球がでできなかった」と振り返るように、
 苦戦を強いられ、第1ゲ
 ームを落とした。第2ゲ
 ーム以降はチキータなど
 の攻撃的な技を駆使し
 て、徐々に流れを取り戻
 していき、3-1で逆転
 勝利した。
 星は「難しい技術を積
 極的に使っていたこと
 で、最終的に相手を上回
 ることができた」と勝因
 を挙げた。
 永道・大島ペアは初戦
 を終えて2位タイ。優勝は
 こそ苦戦したものの、そ
 の後は順調に勝ち上が
 り、迎えた決勝戦。一進
 一退の攻防が続き、2-
 2で迎えた最終ゲームも
 デュースまでもつれ込ん
 だ。最後まで攻めの姿勢
 を崩さず、このゲームを
 14-12で奪い、優勝を手
 に入れた。

男子ダブルスで上村太
 陽(文1・大阪桐蔭高)
 ・星翔太(経営1・鶴岡
 奈々(文1・愛知みずほ
 東高)ペアが、女子ダブ
 ルスでは永道麻依加(文
 1・希望が丘高)・大島
 奈々(文1・愛知みずほ
 大瑞穂高)ペアとともに
 優勝を果たした。

上村・星ペアは準々決
 勝まで1ゲームも落とさ
 ない盤石の戦いぶり。準
 決勝は遠藤碧人(文1・
 野田学園高)・六本木瑛
 介(経営1・東山高)ペ
 アとの専大対決を3-1
 で制した。迎えた決勝の
 相手は中大の浅津碧利・
 小野寺翔平ペア。序盤は

ここまで4校との対戦
 を終え、5勝4敗の勝ち
 点2で2位タイ。優勝は
 厳しいが、リーグ上位に
 与えられる清瀬杯大学準
 硬式野球大会出場的可能
 性が残っている。
 上位にとどまるために
 も負けられない一戦とな
 った中大との第3戦(5
 月2日)は、投手陣の粘
 りが勝利を呼び寄せた。
 先発の小倉一優(経営
 2・星稜高)はインコー
 スのストリートに有効に
 使い、凡打の山を築いた。
 「ピンチの時こそギアを
 上げて三振を奪いにいっ
 た」と振り返るように3
 度のピンチを三振で切り
 抜けた。
 八回、ランナー三塁の
 場面で三浦翔(法1・専
 大松戸高)が打席に。
 「先輩たちが声をかけて
 くれたおかげで緊張がほ
 ぐれた」と、高めのスト
 レートを狙い撃ち、適時
 三塁打となった。八、九
 回を松澤知大(商4・関
 東学園大附属高)が気合
 の投球で封じた。
 (八代)